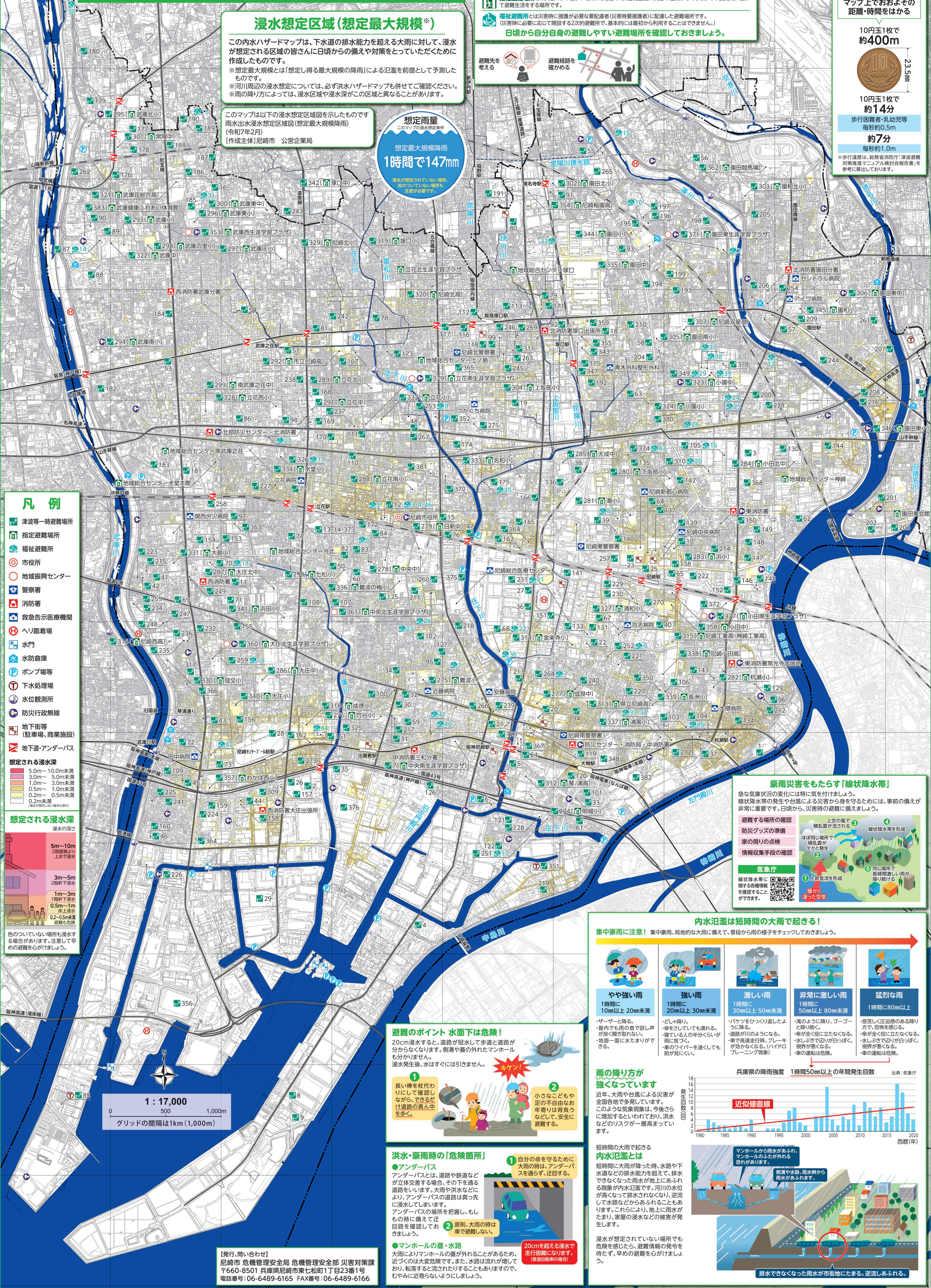




浸水想定区域 (想定最大規模※)

この内水ハザードマップは、下水道の排水能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。

※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご確認ください。

※雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。

想定雨量

このマップの浸水想定条件

想定最大規模降雨

1時間で147mm

浸水が想定されていない場所、色のついていない場所も注意が必要です。

- ### 凡例
- 津波等一時避難場所
 - 指定避難場所
 - 福祉避難所
 - 市役所
 - 地域振興センター
 - 警察署
 - 消防署
 - 救急告示医療機関
 - ヘリ臨着場
 - 水門
 - 水防倉庫
 - ポンプ場等
 - 下水処理場
 - 水位観測所
 - 防災行政無線
 - 地下街等 (駐車場、商業施設)
 - 地下道・アンダーパス
- ### 想定される浸水深
- | 浸水の深さ |
|--------------|
| 5.0m～10.0m未満 |
| 3.0m～5.0m未満 |
| 1.0m～3.0m未満 |
| 0.5m～1.0m未満 |
| 0.2m～0.5m未満 |
| 0.2m未満 |
- 色のついていない場所でも浸水する場合があります。注意して早めの避難を心がけましょう。
- ### 想定される浸水深
- 浸水の深さ
- | 浸水の深さ |
|------------|
| 5m～10m |
| 3m～5m |
| 1m～3m |
| 0.5m～1m |
| 0.2～0.5m未満 |
- 色のついていない場所でも浸水する場合があります。注意して早めの避難を心がけましょう。

尼崎市では災害が発生したときのために、次の避難場所を定めています。

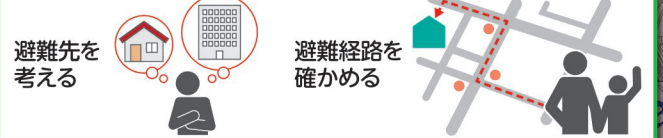
津波等一時避難場所とは津波・高潮・洪水等が発生したときに、津波警報や避難情報が発令されたときから解除されるまでの間、一時的に避難できる場所です。公共施設のほか、民間等の建物所有者にご協力をいただいております。

指定避難場所とは災害により住まいを失った場合や、災害発生後に災害の危険がなくなるまで中長期に渡って避難生活をする場所です。

福祉避難所とは災害時に支援が必要な要配慮者 (災害時要援護者) に配慮した避難場所です。

災害時に必要に応じて開設する二次避難所、基本的には最初から利用することはできません。

日頃から自分自身の避難しやすい避難場所を確認しておきましょう。



歩行の目安

硬貨を使ってマップ上でおよその距離と時間をはかってみましょう。

マップ上でおよその距離・時間をはかる

10円玉1枚で約400m

23.5mm

10円玉1枚で約14分

歩行困難者・乳幼児等 毎秒約0.5m

約7分 毎秒約1.0m

※歩行速度は、総務省消防庁「津波避難対策推進マニュアル検討会報告書」を参考に算出しております。

豪雨災害をもたらす「線状降水帯」

急な気象状況の変化には特に気を付けましょう。

線状降水帯の発生や台風による災害から身を守るためには、事前の備えが非常に重要です。日頃から、災害時の避難に備えましょう。

避難する場所の確認

防災グッズの準備

家の周りの点検

情報収集手段の確認

気象庁

線状降水帯に関する各種情報を確認することができます。

内水氾濫は短時間の大雨で起きる！

集中豪雨に注意！ 集中豪雨、局地的な大雨に備えて、普段から雨の様子をチェックしておきましょう。

雨の強さ	1時間に
やや強い雨	10mm以上 20mm未満
強い雨	20mm以上 30mm未満
激しい雨	30mm以上 50mm未満
非常に激しい雨	50mm以上 80mm未満
猛烈な雨	80mm以上

雨の降り方が強くなっています

近年、大雨や台風による災害が全国各地で多発しています。このような気象現象は、今後さらに増加すると見られており、洪水などのリスクが一層高まっています。

短時間の大雨で起きる内水氾濫とは

短時間に大雨が降った時、水路や下水道などの排水能力を超えて、排水できなくなった雨水が地上にあふれる現象が内水氾濫です。河川の水位が高くなって排水されなくなり、逆流して水路などからあふれることもあります。これらにより、地上に雨水がたまり、家屋の浸水などの被害が発生します。

浸水が想定されていない場所でも危険を感じたら、避難情報の発令を待たず、早めの避難を心がけましょう。

避難のポイント 水面下は危険！

20cm浸水すると、道路が冠水して歩道と道路が分からなくなります。側溝や蓋の外れたマンホールも分かりません。

浸水発生後、水はすぐには引きません。

1 長い棒を杖代わりにして確認しながら、できるだけ道路の真ん中を歩く。

2 小さな子どもや足の不自由なお年寄りや荷物が、安全に避難する。

洪水・豪雨時の「危険箇所」

●アンダーパス

アンダーパスとは、道路や鉄道などが立体交差する場合、その下を通る道路をいいます。大雨や洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。アンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を確認しておきましょう。

●マンホールの蓋・水路

大雨によりマンホールの蓋が外れることがあるため、近づくのは大変危険です。また、水路は流れが増え、転落すると流れさらされることもありますので、むやみに近寄らないようにしましょう。

20cmを超える浸水で走行困難になります。(普通自動車の場合)

【発行、問い合わせ】

尼崎市 危機管理安全局 危機管理安全部 災害対策課

〒660-8501 兵庫県尼崎市東七松町1丁目23番1号

電話番号：06-6489-6165 FAX番号：06-6489-6166